



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO.22
(通巻205号)
令和2年(2020)
2月3日(月)

『2種類の努力』

校長 飯野 博史

寒さのピークが続いていますが、今日は節分、明日は立春、かすかに春の足音が聞こえてきます。今年度も残り2か月、引き続き一日一日を大切にしていきましょう。

12月15日(日)に「学校をきれいにしよう大作戦 全校トイレ掃除」を行いました。「トイレ掃除」に参加した生徒からたくさんの感想文が寄せられました。感想文を読んでいると桑田真澄選手の「2種類の努力」という話を思い出しました。

桑田真澄さんは、元プロ野球選手・巨人軍のピッチャーで、全国の野球少年にとってはスーパーヒーローでした。

桑田選手は高校1年生の夏の甲子園で、いきなり事実上の「エース」として、同じ1年生で「4番バッター」の清原選手とともに全国制覇。そしてその後も大活躍を続け、甲子園では、高校3年間で出られる5つの大会にすべて出場。そして優勝が2回、準優勝が2回、ベスト4が1回という、とてつもない結果を残した人です。個人としても、甲子園の勝利数は、戦後第1位。甲子園で打ったホームランの数は歴代第2位です。(歴代1位は清原選手)その後プロ野球に入り、巨人のエースとしても大活躍しました。

桑田選手の高校時代のこと、入学して野球部に入りましたが、最初に「無理だ」と思ったそうです。周りはみんな体も大きいし、野球がうまい。自分は体も小さいし、結果も出ない。そこで、高校をやめることも考えたそうです。しかし、そこであきらめずに努力を続けたところ、どんどん結果が出るようになりました。走ったり、腹筋をしたり、ピッチング練習をしたり…野球がうまくなるための努力、「表の努力」をしました。

「表の努力」にとどまらず、桑田さんはもうひとつ、「裏の努力」をしました。

みんなよりも少しだけ早く起きて、1日10分、毎日寮のトイレ掃除をする。みんなよりも少しだけ早くグラウンドに行き、20本だけ草むしりをする。廊下に落ちているゴミを拾う。大きな声で挨拶をする。玄関の靴をそろえる。こういうことを3年間続けたそうです。野球にまったく関係のない努力、「裏の努力」です。

この「裏の努力」を続けるうちに、不思議なことが起きてきました。桑田さんが打たれたときには、味方の正面に打球が飛んだり、味方がファインプレーをしてくれたり、自分が打った打球が風に押されてホームランになったり…。とにかく「運」が良くなっていったそうです。桑田さんによると、甲子園で打った6本のホームランも、ほとんどが「風」のおかげだということです。

桑田さんは、決して「精神論」だけの人ではありません。日本の野球界でも屈指の「理論派」です。そんな人が言う言葉だけにとっても興味深いと思いました。桑田さんは最後にこう語っていました。「裏の努力に、技術は必要ありません」

『凡事徹底』という言葉があります。人が見過ごしたり、見捨てたりしたものを一つ一つ拾い上げ、価値を見いだす。やれば誰でもできる平凡なことを徹底して行い、その中で差をつける、まさに桑田さんの「裏の努力」ということではないでしょうか。

私も「裏の努力」を大切にしようと思いました。

裏面に「トイレ掃除」の感想文を載せました。生徒たちが「トイレ掃除」を通して何を学んだか、読み取ってください。

◎「トイレ掃除」(令和元年12月15日実施)感想文

- ・僕は「トイレ掃除」に参加しました。最初はやっぱり、トイレということもあり抵抗がありました。なぜ朝早くに、トイレなんか洗わなきゃいけないんだと少しイヤでした。しかし、よく考えてみるといつも使っているのは八中生だし、キレイにするのは当然かなと思いました。でも実際にリーダーのお手本を見て、素手で便器の中に手を突っ込み洗うことはやっぱり抵抗がありました。でも、ちょっとずつちょっとずつ日々の汚れが落ちていくことで達成感がありました。

トイレの掃除を通して、僕は日常的にトイレをキレイにするのは当たり前、すべてのものに意味があり、大切にしないといけないものだということを学びました。これらのことを、これからの学校生活、日常生活に生かして、いつもキレイに過ごせるようにしたいです。

- ・私はトイレ掃除に参加して様々なことを学びました。一つめは掃除道具の大切さについてです。一つ一つの道具にはそれぞれの良さがあり、それを生かすかどうかは自分たち次第だと感じました。見たことのない道具があり、とても興味深かったです。

二つめは自分が生活している身近なところに汚れているところがたくさんあるということです。いつも表面だけしか掃除していないため、隅々がとても汚れていました。トイレだけでなく教室の隅など汚い場所がたくさんあるということが分かりました。これからはその場にあった掃除道具を使い、隅々まできれいにしていきたいと思いました。掃除した後はその場所だけでなく、心もきれいになりました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

- ・「トイレ掃除」に参加して最初は本当に抵抗がありました。「なんで掃除しなきゃだめなんだろう。手を突っ込んだりするのめんどくさいな」とすごく思っていました。

ですが、掃除をしていく中でだんだんときれいになっていくのが楽しく、もっときれいにしたいとすごく思うようになり、抵抗感も全くなくなりました。また、トイレのことだけではなく、一番思ったのは、自分のだめな所はきれいにするのはとても時間がかかるけれど、努力していくことでだめな所がよくなるのではないかとということです。これらのことから私は、だめな所、改善点はそのままにしておくのではなく、努力してもっとよくしていきたいとすごく思いました。また、私は実際、よく人のだめなところばかり見て裏でグチグチ言っていました。ですが、トイレも一見汚いように見えるけれど、よく見て洗ってみるときれいになるので、それは人のいやな所を見ているばかりではなく、その人のいい所を見ることでその人のことがもっと好きになるのではないかと思いました。私が心からこのように思えたのは「トイレ掃除」に参加したおかげです。ありがとうございました。

- ・参加するはずの妻の体調があまりよくなく、急遽私が参加しました。トイレ掃除2時間、というやったことのない企画なので、頼まれたとき、内心「エー！」と正直あまり前向きな気持ちではありませんでした。しかし、掃除を始めると少しずつきれいになっていく様子と、若いサブリーダーの方の「いいですね！アートになるようですね！」という賞賛の言葉に励まされ、何か自分でも「きれいになっていくじゃん！」と心が前向きになっていくのが分かりました。いっしょにチームを組んだ中学生3人、その他チーフの方、メンバー全員が助け合い、協力し合い担当場所(プールのトイレ)がきれいにピカピカになりました。大変よい経験をさせていただきました。

家庭内でも家内に任せるだけでなく、息子と2人で手伝いたいと思います。みんなで食べるカレーライスもおいしかったです。つついとおかわりました。(保護者の方の感想)